

## 青森県 秋季高校野球

秋季青森県高校野球選手権第2日は17日、3球場で2回戦8試合が行われた。県南勢は工大一が五所川原に快勝し、コールド発進。八学野西は大間の猛烈な追い上げを振り切った。今夏の甲子園出場校で、予選免除だった八学光星は弘前東に逆転負

け。八戸北は追い上げ届かず弘前に敗れた。大湊は一時は6点のリードを奪いながら青森北に逆転負けした。工大二是青森商に、6校連合（七戸、六ヶ所、野辺地、浪岡、五所商、松風塾）は青森山田に敗れた。

19日に県営と弘前市はるか夢の2球場で予定されていた準々決勝4試合について、県高野連は台風14号の接近を理由に21日に順延することを決めた。

（取材班）

# 光星 初戦逆転負け

○：新チーム発足後初の公式戦となった八学光星がよもやの初戦敗退を喫し、来春のセンバツは絶望的となった。最大3点のリードを守り切れなかった。仲井丞監督は経験のない部分が出て、勝負どころでの感覚が鈍かった」と厳しい表情だった。

相手先発の低めの変化球に手を焼いたが、鈴木崇のソロ本塁打や小技を絡めた攻撃で着実に加点。六回から救援した畑垣紫も粘投し、確かに勝利をつかみかけていた。

形勢が逆転したのは八回の守備。2点差に迫られ、なお1死満塁から同点打を許した。その後も二つの押し出し四球で計5失点。畑垣は「抑える気持ちが強過ぎて力み過ぎてしまった」と肩を落とした。

九回には中澤恒貴主将の右前適時打で追い上げたが、続く鈴木の中越え打はエンタイトル二塁打となり、中澤は同

## 1点差に詰め寄るも及ばず

点の本塁に戻れない不運もあって勝利に届かなかった。中澤主将は「守備の細かい部分や連係を強化し、隙のないチームを目指す」と冬場のレベルアップを誓った。



【八学光星―弘前東】9回八学光星2死三塁、中澤恒貴が右前適時打を放ち、6―7と詰め寄る。青森県営